

比叡平 一丁目 自主防災会だより

No.36

発行責任者
影山哲男
電話
529-1107

3・11東日本大震災から7年

震災時に役立つ！「100均」で揃えられる防災グッズ

わたしは、ネットで「防災の鬼 渡辺実のぶらり防災・危機管理」という連載記事を読んでいます。3月には「3・11を機に100均でそろえる非常用グッズ。これだけは必須の“鬼”厳選27アイテム」という記事がありました。

「自然の力は人間の想像を簡単に超えます。ひとたび大規模災害が起これば、誰もが被災者になりうる。いくら嫌だと言っても災害はえこひいきしてはくれません。だから日ごろの備えが大切なのです。東日本大震災から5年経ちました。これを機会に非常用持ち出し袋を作ってみてはいかがでしょう」（2年前の記事の再録でした。）

あの日以前に戻ることはできないが、いつ来るかもしれない危機に備えることはできるはず。今回は“鬼”の目線で選んだ「100均ショップでそろえる非常用持ち出しグッズ」をお届けする。

いろいろな揃え方があると思いますが、一例として「防災の鬼」がリストアップしたものを以下に。

- すぐに実行できる27の商品リスト
- 商品名 価格(税別) 100円以外ものは価格を表示
- カラーリュック 300円
- 超吸水カラークラフフェイスタオル 200円
- 折りたたみ傘 200円
- アルコール除菌ウェットティッシュ 伸縮ネット付 200円
- キズテープ Sサイズ30枚+Mサイズ30枚
- 花粉かぜマスク
- 生理用ナプキン DRYナイト 3個入り
- ノートブック
- 油性ボールペン 黒・赤
- 老眼鏡
- キャンピング スプーン・フォークセット
- 来客箸 三膳セット
- ペーパーカップ 18個入り
- ペーパープレート 25枚入り
- フードラップ 60m
- ゴムバンド 100g
- ダブルクリップ(コーティングクリップ)
- 軍手 Mサイズ
- 6得万能ナイフ

ガスライター 2個入り
簡易保温・防水ポンチョ
方位磁石
ミニランタン
LED懐中電灯
ゴミ袋25L 20枚入り
単3型 アルカリ乾電池 5本入
合計 3100円

100円ショップにはなかったが、やはり携帯ラジオ(電池つき)は必須なので、廉価なものでいいから入れておいてください」(渡辺氏)



※ダイソーでは、セットにして防災グッズが売っていました。

ネットで「100均」でそろえる防災用品」で検索すると、いろいろ出てきます。セットで何万円もするものが検索上位に来るのは不思議ですが。

商品選びのポイントに、政府広報の情報を参考にするのもいいでしょう。

う。

- ・ 予算は3000円
- ・ 3日間何とか生き延びるために必要なもの
- ・ 置き場所に困らない、一人分のセット

を作ること。過剰なクオリティを求めずに、必要最低限を揃えてみましょう。

第52～57回活動会員会議

10～3月、毎月第3日曜日7～8時に開催

11月から3月までの出来事と会議でのおもな報告

災害時に通信途絶？ いざという時のために学区自主防災会でトランシーバー4台と中継機を購入(2017年度大津市補助金)。水道山に設置工事をした。

11月3・4日(土・日) 学区文化祭でトランシーバを展示

11月9日(木)学区自主防災会役員会
11月21日(火)一丁目崩落現場の道路が復旧

11月22日(水)バス交通が回復
11月26日(日)防災士フォローアップ研修で倒れた家の下敷きになっている人を救出・搬送の実技研修を行った。参加：久保田、辻、濱

12月3日(日)防災倉庫備品の点検

(発電機やチェンソーを始動)を自治会役員と共同で行なった。
12月5日(火)街づくり協議会で、山中比叡平市民センターの支所機能の廃止が話題となった。

12月21日(木)水道山のトランシーバ中継器の点検

12月22日(金)災害時のために学区から大津市に要望していた医薬品の備蓄が始まる。常温保存薬をケースに入れてセンターに保存
12月27日(水)消防分団年末警戒式に自主防災会会長らが参加

・広報の印刷は1月1日号からはネットを外注して発行する。コストが下がったので外注が可能に。
1月7日(日)大津市出初式 自治会長からの推薦による一丁目自主防災会団体表彰を寺村活動会員が受け取った。表彰状はやまびこ自治会館内に掛けた。

1月11日(木)学区自主防災会役員会
1月15日(月)一丁目崩落現場の災害復旧工事の完了(19日)を前に、現場復旧説明会が開かれた。
2月14日(火)大津市学区自主防災会会長協議(久保田会長が出席)
2月18日(日)中ブロック防災圏意見交換会に出席(久保田・辻)

3月8日(木)学区自主防災会定例役員会

※学区自主防災会では、トランシーバの取り扱いに習熟すべく毎週1回訓練しています。現有8台。トランシーバの実地訓練を兼ねて比叡平を通過する消防車を追跡しています。

1月30日(火)夜 京都の消防車が比叡平の南へ出動し、池ノ谷地蔵から10人がザイルを持って遭難者の救出に向かった。京都では、近隣の山で遭難する人が増えている。去年は年間48件。大文字山などの里に近い山でも10件とのことである。(翌日のニュース番組で)

3月7日(水)4時頃。京都の消防車4台が比叡山下ドライブウェイを北上、比叡山中で救助に。八瀬ロープウェイ建物工事で1人死亡

この間のおもな審議事項

・「学区避難所運営マニュアル作成の手引」を元に学区会長の久保田さんが作成した「地区防災計画」案を検討した。

・一丁目街路設置の消火器の更新。使用期限の過ぎている消火器の更新作業を自治会と協力して行う。消火器補助金書類提出を用意。家庭用の消火器も自治会と共同で買い替えを呼びかける。

・本年度は、災害図上訓練(DIG)を予定

・ブログから情報発信する。以前つくったホームページも活用したい。
2018年度の学区総合防災訓練
5月27日(日)9時開始。11時小学校へ。
内容…各一時避難場所での訓練を開始する。

一丁目では、消火器・消火栓訓練…近所の消火栓の位置確認と使いかたの救出・救護訓練…救出機材の使用、リヤカー等で搬送避難補助、AED訓練
情報伝達訓練(トランシーバ訓練)などを予定

◆◆防災豆知識◆◆

(住民交流センターの広報誌に連載されていた学区自主防災会会長久保田さんの原稿を転載します)

第15回…山中比叡平の水対策

(2015年8月1日)

山中比叡平学区の水道水は、柳が崎浄水場で作られた水をいくつかのポンプで中継して住民交流センター北側の水道山にある1500トンと4500トンのタンクに送り、そこから供給されています。学区の水道使用量は約1000トン/日ですから、ポンプは毎日働いています。停電が長時間続くとポンプアッブができませんので断水も起こります。大地震による水道管からの漏水に備えて

1500トンタンクの流路には緊急遮断弁が備えられていますが、4500トンのタンクには遮断弁はありませんので、1500トンタンクの緊急遮断弁が作動しても直ちに断水になることはありません。緊急遮断弁は震度6弱以上の揺れがありかつ30分以内に通常時の最大流量の1.2倍の水が流れると作動するように設定されています。大地震時には確実に緊急遮断弁を作動させるために各家庭で30分以内に水道水を蓄えることにより流量を上げましょう。1500トンタンクに1000トンの水が確保されたら、これを住民交流センター横の緊急給水口から3000人の住民が利用することになります。一人当たり一日20リットルと仮定すれば、一日で60トンの水を使いますから、1000トンの水は16・7日でも使えます。もちろん風呂も水洗トイレも使える量ではありません。

大地震で比叡平貯水池のタンクが破損したり緊急遮断弁が適切に作動しなかった場合には、比叡平には水がなくなります。各家庭では飲食用に一人あたり2リットルのペットボトルを6本以上備蓄しましょう。また雨水を溜めるなど、生活用水や水洗トイレ用水も蓄えましょう。

活動会員を募集しています

防災に関心のある方は、いっしょに考え行動しませんか。参加を希望される方は、お近くの活動会員まで。

自主防災会会費をお寄せ下さい

一丁目自治会からは年間5万円の活動費を頂いています。自治会員でない方には、年間5000円の会費納入をお願いしています。